

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00446）

事務事業名称			ごみの減量と資源化の推進				款	06	項	01	目	03	事業	002	整理番号	465										
現担当課名			ごみ減量対策課		係名		事業計画係		連絡先電話番号		3725		昨年度整理番号		446											
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成13年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		01		02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成26年度担当課名		ごみ減量対策課																		事業評価区分		一般			
	対象		区民・事業者・産業団体等																		根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
																					(2)		循環型社会形成推進基本法			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリサイクルや集団回収への取組みを進め、ごみの発生を抑制し、リサイクルの意識を高める。																		活動指標		指標名（1）		パンフレット、チラシ及びポスター延べ配布部数	
																				指標説明		指標名（2）		集団回収実施団体数		
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		ごみの減量を推進するため、各種啓発紙の発行や小中学校への環境学習により、啓発活動を行う。資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。資源化を推進するため、小型家電15品目の拠点回収し、希少金属の再資源化業者に引き渡す。																		成果指標		指標名（1）		ごみ量削減率（対前年度比）		
																				指標説明		指標名（2）		当該年度家庭ごみ量÷前年度家庭ごみ量		
																				指標説明		資源回収率		（（区資源回収量+集団回収量）÷（家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量））		
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度														
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比(%)												
指標	活動指標（1）		1	枚	601,227	609,540	634,700	601,540	606,350	591,350	100.8															
	活動指標（2）		2	団体	401	390	421	400	444	443	111.0															
	成果指標（1）		3	%	97.8	98.0	98.0	98.0	96.7	98.0	98.7															
	成果指標（2）		4	%	27.3	27.5	28.4	28.0	28.5	28.9	101.8															
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	17,343	77,319	75,051	75,931	75,609	86,216	平成26年度 予算執行率(%)		99.6													
	（内）投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項															
	（内）委託費		7	千円	4,361	17,921	16,955	18,271	18,152	17,173																
	職員数	常勤職員数		8	人	4.51	5.85	6.97	7.48	7.79	7.27															
		再任用職員数		9	人	0.80	0.20	0.50	1.40	1.10	1.40															
		非常勤職員数		10	人	0.40	0.30	0.80	0.15	0.15	0.15															
	人件費	常勤職員分		11	千円	39,237	50,486	60,151	65,899	68,630	64,049															
		再任用職員分		12	千円	3,144	772	1,930	5,670	4,455	5,670															
		非常勤職員分		13	千円	1,100	834	2,224	425	425	425															
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	60,824	129,411	139,356	147,925	149,119	156,360																
	単位あたりコスト (14-6)÷1		15	円	101	212	220	246	246	264																
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	360	368	726															
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0															
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0															
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0																	
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	360	368	726																	
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	60,824	129,411	139,356	147,565	148,751	155,634																	
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.5																	

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	465	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		ごみ・資源の収集カレンダーの発行	430,200	部	11,349	
		清掃情報紙「ごみバックン」「ごみバックン中学生版」の発行	127,000	部	2,492	
		集団回収団体報奨金支払い	444	団体	41,202	
		その他(集団回収支援消耗品ほか)			20,566	
(2) 事業実績	<p>ごみ・資源の収集カレンダーや「ごみバックン」などの清掃情報紙、ごみ出しアプリなどによる適正な分別やごみ減量の普及啓発を継続して実施しました。また協働提案制度に基づき、NPO団体との協働事業による生ごみ減量の普及啓発も合わせて実施しました。</p> <p>集団回収については、NPO法人すぎなみ環境ネットワークと協働で行っている団体募集のPRにより、活動団体数及び回収量とも増加しました。</p> <p>小型家電の回収については、年約5,000kg程度の回収を行いました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に清掃事業が東京都から23区に移管されたことに伴い、「杉並区の清掃事業」の発行を開始し、現在は隔年発行しています。17年度から「ごみバックン」の発行を開始しました。平成21年から地区別にごみ・資源の収集カレンダーを発行しています。</p> <p>小学4年生には平成18年度から「できることからはじめよう」を、中学生には22年度から「ごみバックン中学生版」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量等を周知しています。</p> <p>平成25年度にスマートフォン用アプリケーション「なみすけのごみ出し達人(マスター)」(ごみ出しアプリ)を開発、配信を開始し、平成26年5月末現在、約13,700ダウンロードされています。</p> <p>集団回収量は、平成23年度以降、増加を続けています。</p>				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区で作成している「杉並区の清掃事業」、「ごみバックン」、ごみ・資源の収集カレンダー、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動を継続していくべきものと考えています。</p> <p>集団回収については、団体の意見交換会の中で、常に支援内容の拡大・拡充を求められています。</p>				
	今後の予測	<p>区で作成している「杉並区の清掃事業」、「ごみバックン」、ごみ・資源の収集カレンダーはどれもおおむね好評で、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動を継続していくべきものと考えています。</p> <p>集団回収は、制度のPRや活動支援策の充実を図っていくことで、団体数・回収量ともに増加をしていきます。</p>				
評価と課題	<p>ごみ・資源の収集カレンダーについては、よりよいものになるよう、さらに見直していきます。</p> <p>ごみ減量については、区民が主体となって取り組んでもらうよう、ごみ減量の意義や適正な分別、処理経費の削減の必要性など、様々な機会を通じた働きかけを引き続き行っていきます。</p> <p>集団回収については、全体の回収量は増加していますが、さらに集団回収を活発にしていいため、団体活動の支援策について検討を進めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
今後の進め方	<p>ごみ・資源の収集カレンダーは、紙での周知媒体として好評を得ており、今後も作成していく方向です。内容や配布方法などは、その都度検討していきます。</p> <p>集団回収は町会・自治会や大規模集合住宅など既存の団体等に対し、積極的に制度のPRや実施の働きかけを行うとともに、活性化のための有効な支援策を検討していきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00447)

事務事業名称		ごみ・し尿の収集・運搬			款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	466	
現担当課名		ごみ減量対策課			係名	事業計画係			連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	447		
上位施策No・施策名										10 ごみの減量と資源化の推進		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成12年度													
	平成26年度担当課名	ごみ減量対策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内一般家庭 事業者(排出日量50kg未満)			根拠法令等	(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
						(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。			活動指標	指標名(1)		ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量							
					指標説明		粗大ごみの収集点数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設又は車両中継施設に搬入する。粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬及び日曜収集、中継所への区民持込を委託により実施する。			成果指標	指標名(1)		区民一人1日当たりのごみ排出量								
					指標説明		ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量÷杉並区人口÷365日								
					指標名(2)		1トン当たりのごみ・し尿収集運搬コスト								
					指標説明		ごみ・し尿収集運搬コスト(事業費)÷ごみ収集量								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 t	104,168	102,114	102,115	100,469	99,555	99,497	99.1						
	活動指標(2)	2 点	435,510	410,000	461,277	488,000	474,359	488,000	97.2						
	成果指標(1)	3 g/人・日	528	520	515	510	498	505	97.6						
	成果指標(2)	4 円/t	16,011	16,400	16,024	16,967	16,173	16,730	95.3						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,667,852	1,674,635	1,605,152	1,671,692	1,610,081	1,664,579	平成26年度 予算執行率(%)	96.3					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	1,656,949	1,654,041	1,593,743	1,642,839	1,598,013	1,630,202							
	職員数	常勤職員数	8 人	167.23	148.75	162.67	152.66	161.49	151.66						
		再任用職員数	9 人	12.77	10.00	10.43	13.10	14.31	11.19						
		非常勤職員数	10 人	6.50	3.80	3.83	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,454,901	1,283,713	1,403,842	1,344,935	1,422,727	1,336,125						
		再任用職員分	12 千円	50,186	38,600	40,260	53,055	57,956	45,320						
		非常勤職員分	13 千円	17,875	10,564	10,647	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	3,190,814	3,007,512	3,059,901	3,069,682	3,090,764	3,046,024							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	30,631	29,452	29,965	30,554	31,046	30,614							
	財源	受益者負担分	16 千円	290,807	306,608	304,957	328,469	330,746	348,576						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	290,807	306,608	304,957	328,469	330,746	348,576							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	2,900,007	2,700,904	2,754,944	2,741,213	2,760,018	2,697,448							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	9.1	10.2	10.0	10.7	10.7	11.4								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	466																										
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)																										
		収集・運搬車両経費(可燃・不燃)	309	日	1,216,547																										
		粗大ごみの収集運搬委託	361	日	296,782																										
		し尿の収集・運搬	31	戸	14,673																										
		収集作業員人件費(臨時)	786	人	7,852																										
		その他(賃借料・委託料・消耗品購入ほか)			74,227																										
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>可燃ごみは前年度比98.4%、不燃ごみは前年度比81.7%、粗大ごみは前年度比93.5%と着実に減少しています。不燃ごみ・粗大ごみは金属等の選別、再資源化の取組を実施していることにより、前年度比を大幅に減少しました。 ごみ量全体では、約2,500t余の減少となりましたが、杉並清掃工場建替期間中による他区の清掃工場への搬入による車両経費が増加しております。</p>																													
		<table border="0"> <tr> <td>可燃ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>108,401 t</td> <td>平成26年度</td> <td>92,480 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約15%減</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>25,288 t</td> <td>平成26年度</td> <td>3,539 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約86%減</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>4,919 t</td> <td>平成26年度</td> <td>3,535 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約28%減</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>平成12年度</td> <td>138,608 t</td> <td>平成26年度</td> <td>99,555 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約28%減</td> </tr> </table>				可燃ごみ量	平成12年度	108,401 t	平成26年度	92,480 t	対平成12年度比	約15%減	不燃ごみ量	平成12年度	25,288 t	平成26年度	3,539 t	対平成12年度比	約86%減	粗大ごみ量	平成12年度	4,919 t	平成26年度	3,535 t	対平成12年度比	約28%減	総計	平成12年度	138,608 t	平成26年度	99,555 t
可燃ごみ量	平成12年度	108,401 t	平成26年度	92,480 t	対平成12年度比	約15%減																									
不燃ごみ量	平成12年度	25,288 t	平成26年度	3,539 t	対平成12年度比	約86%減																									
粗大ごみ量	平成12年度	4,919 t	平成26年度	3,535 t	対平成12年度比	約28%減																									
総計	平成12年度	138,608 t	平成26年度	99,555 t	対平成12年度比	約28%減																									
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化																														
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>資源物の分別に関する問い合わせが、多く寄せられ、資源化に取り組みとうとするごみ減量行動の実践、意識が浸透してきています。また、雪害など荒天時においても収集作業を行ったことに対し、感謝の声も多く届いています。一方、集積所管理は特定の利用者に負担が大きく、ごみを出す人のマナーなどによるトラブルが発生していることから、戸別収集を希望する声が多く寄せられています。</p>																													
	今後の予測	<p>ごみ量は、平成25年度に改定した杉並区一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの減量や資源化の推進、適正排出のための具体的な取組などにより年々減少しています。一方で、近隣関係の困難さや若年層・単身世帯の排出マナーの課題などから集積所数は年々増加しています。</p>																													
評価と課題	<p>平成26年度の杉並区の区民一人1日あたりのごみ量は498グラムと、前年度と比較して17グラム減少しました。しかし、平成29年までの杉並清掃工場の建替期間中は、他区の清掃工場へごみを運搬するため、収集車両台数の増車を実施しており、ダブル作業からシングル作業への作業計画の見直しを図られています。事業系ごみの収集においては、平成25年10月に廃棄物処理手数料の改定を行いました。特にトラブルもなく順調に実施しています。今後も適正なごみ処理券の貼付に向けた周知・指導を行っていきます。</p>																														
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持																												
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)																												
今後の進め方	<p>収集コストの抑制を図りつつも、ごみ量のみならず、集積所数やふれあい収集の件数増加に対応するべく、効率的な収集体制を確立していきます。また、粗大ごみや不燃ごみの資源化の実施による金属等の売払による歳入の確保や資源の有効活用を努めていきます。</p>																														

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00449)

事務事業名称		資源の回収			款	06	項	01	目	03	事業	005	整理番号	468		
現担当課名		杉並清掃事務所			係名			資源対策係			連絡先電話番号	3317-6771	昨年度整理番号	449		
上位施策No・施策名										10		ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成11年度														
	平成26年度担当課名	杉並清掃事務所														
	対象	資源の排出者			根拠法令等	(1)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
						(2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。			活動指標	指標名(1)	資源の回収量(行政回収分)									
					指標説明											
					指標名(2)											
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ごみ・資源の集積所に排出された資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)を回収し、中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化施設に引き渡し、再商品化する。			成果指標	指標名(1)	資源回収率(本事務事業では区資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。)										
					指標説明	(区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量)										
					指標名(2)	資源の回収コスト										
					指標説明	資源回収コスト(事業費)÷資源回収量(区回収分)										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1 t	32,372	32,325	32,684	32,500	31,491	32,675	96.9							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3 %	27.3	27.5	28.4	28.0	27.8	28.9	99.3							
	成果指標(2)	4 円/t	66,910	68,507	66,601	67,000	71,125	71,545	106.2							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	2,166,035	2,212,411	2,176,781	2,286,214	2,239,807	2,337,739	平成26年度予算執行率(%)	98.0						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	2,154,937	2,192,612	2,160,583	2,269,338	2,223,685	2,321,860	本事務事業では区資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。							
	職員数	常勤職員数	8 人	12.25	12.80	10.53	9.83	10.00	7.82							
		再任用職員数	9 人	1.01	0.00	0.00	0.30	0.60	0.30							
		非常勤職員数	10 人	0.50	1.00	0.50	0.00	0.00	1.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	106,575	110,464	90,874	86,602	88,100	68,894							
		再任用職員分	12 千円	3,969	0	0	1,215	2,430	1,215							
		非常勤職員分	13 千円	1,375	2,780	1,390	0	0	2,830							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	2,277,954	2,325,655	2,269,045	2,374,031	2,330,337	2,410,678								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	70,368	71,946	69,424	73,047	74,000	73,777								
	財源	受益者負担分	16 千円	231,880	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	53,111	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	53,475	40,000	51,428	45,000	45,517	50,000							
その他の補助金等		19 千円	0	168,138	240,953	254,396	315,910	312,165								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	338,466	208,138	292,381	299,396	361,427	362,165								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	1,939,488	2,117,517	1,976,664	2,074,635	1,968,910	2,048,513								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	468
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		古紙・びん・缶の回収業務委託			
		ペットボトルの回収業務委託(中継、搬送、業務含む)			389,455
		プラスチック製容器包装回収業務委託			549,713
		中間処理委託(回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する)	5	種別	599,898
		その他(消耗品 ほか)			23,195
(2) 事業実績	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収後、中間処理施設まで運搬し、選別・圧縮等を行い資源化を図っています。また、資源持ち去り防止対策として、持ち去り厳禁と記載した専用の新聞回収袋を区の施設約20箇所(区民事務所等)に置き、区民に提供すると共に、早朝回収及び早朝パトロールを行っています。平成26年度は、持ち去り行為を繰り返す違反者に対し、刑事告発(1件、1名)や氏名公表(11名)を行うと共に、関東製紙原料直納組合及び杉並リサイクル事業事業協同組合と協力し、GPSを活用した古紙の追跡調査を6回実施しました。				
事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙の集積所回収を開始し、平成12年度の清掃事業の区へ移管以降は平成18年10月から雑紙を、また平成20年4月からはペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめると、着実に行政回収が定着しています。その反面、行政回収量は年々減少しています。また、区民からの集積所の分散の要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなるなど事業者の負担が増えています。一方、市況によっては、資源が高額で売却できるため、資源(特に新聞)の持ち去り行為が引き続き行われています。				
事業環境の変化	資源の持ち去り行為に対しては、警告書や命令書の交付、氏名等公表にとどまらず、深夜帯のパトロールなど、更なる取り締まりの強化を要望する声が多く寄せられています。また、雨天時でも衣類回収実施して欲しいとの要望が多く寄せられています。				
今後の予測	リサイクル率を向上させるためには、区民への分別に対するPRと共に、区民への負担を考慮しつつ資源化を推進していく必要があります。資源の回収量を増やしていく方法の一つに、集団回収団体の拡充があります。集団回収の拡充は、資源持ち去り対策の面でも有効であり、拡充を図る必要があります。今後は、集団回収へ全面移行した他区の状況を見ながら、資源の集団回収について引き続き調査・研究していく必要があります。				
評価と課題	リサイクル率は向上し、ごみ量も減少していますが、更に向上していくためには、リデュース、リユース、リサイクルの「3R」の普及啓発に加え、分別の徹底に関する普及啓発にも努め、良質な資源の確保に努めます。また、集団回収団体を増やし、必要な支援をすることにより資源の回収量を増やしていきます。資源持ち去りパトロールなどの対策により、持ち去り行為者は減少していますが、一部常習者が継続的に行っている状況です。これまでの対策を継続しつつ、より効果的な対策の検討し、持ち去り行為の根絶を目指します。また、根本的な対策として、常習者に車両等を貸し出している事業者や資源を買い取る問屋等への対策を事業者や組合等と協力していく事が重要な課題となっています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	資源回収について、スマートフォンのアプリやごみ・資源の収集カレンダーなどあらゆる媒体を活用し、よりわかりやすく、幅広く区民に対し、情報提供を行っていきます。資源回収量の増加と良質な資源を確保するため、町会・自治会等の集団回収団体への参加を呼び掛けると共に、団体に対して必要な支援を行います。また、集団回収は、資源持ち去り対策においても効果的であることから更に拡充を図っていきます。資源持ち去りパトロールについては、これまでのパトロールを継続しつつ、より効率的なパトロール方法を検討し実施していきます。また、事業者と連携し早朝回収の実施、GPSを活用した追跡調査も関係団体と連携して継続して実施していきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	469	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		有料ごみ処理券徴収事務委託		335	店	14,485
		動物死体処理委託		772	頭	2,001
		折り畳み式ごみボックス(1,310台)、カラスネット(600枚)		1,910	台	28,123
	その他（ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか）				16,893	
(2) 事業実績	<p>ごみ・資源集積所で、カラスによる被害防止を図るため、折り畳み式ごみボックス、カラスネットの配布及び交換を継続して行い、道路、まちの衛生保持、美観の向上に努めました。「ふれあい指導班」により、ごみの分別方法や資源化に関する周知を行いました。廃棄物管理責任者講習会を9月と2月に開催しました。医療廃棄物処理の適正化に向けたテキストを作成し区内医療機関に配布しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成20年度からは、サーマルリサイクルを開始し、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などが、可燃ごみへ分別変更されるとともに、新たな資源の分別としてにプラスチック製容器包装、ペットボトルが加わり、古紙も分類に雑がみが加わるなど、ごみの減量と資源化を進めています。相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かなサービスを提供するなど、ごみ資源集積所の分散化が年々進んでいます。杉並清掃工場の建替えに伴い、可燃ごみの全量を指定された他清掃工場へ搬入しています。平成25年10月にごみ処理経費と受益者負担との見直しにより、ごみ処理手数料を改定しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情も多くなっています。</p>				
	今後の予測	<p>区民や事業者から、ごみの出し方や集積所の管理等に関する問い合わせが、今後も続くものと予想されます。</p>				
評価と課題	<p>ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進により、年々減少しています。しかし、若年層や単身世帯への分別方法の周知及びさらなるごみの減量、資源化の促進に課題があります。また、事業者への事業系有料ごみ処理券の貼付の周知・排出指導により、貼付率の向上とごみの減量を目指します。今後もごみの分別指導を積極的に行い、ごみの減量と資源化の推進に努めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが重要です。今後も区民や事業者に対し、ごみの分別と資源化を徹底していきます。「杉並版ごみ出しアプリ」の運用について検証し、特に環境問題に関心の低い若年層や単身世帯への分別方法の周知が図れるように改善していきます。ふれあい収集時に、ごみが出ていない場合に声かけをするなどして、対象者の安否確認を行っています。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉分野と連携し、区民サービスの向上に努めていきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00453)

事務事業名称 清掃車の運行及び維持管理			款 06	項 01	目 04	事業 001	整理番号 472				
現担当課名 杉並清掃事務所		係名 管理係	連絡先 電話番号 3392-7281			昨年度 整理番号 453					
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成12年度									
	平成26年度 担当課名	杉並清掃事務所				事業評価区分	施設維持管理				
	対象	区所有清掃車両(ごみ収集車、軽ダンプ車、連絡車)50台	根拠法令等 (1)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
			(2)	道路運送車両法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	加害事故「0」の実現と継続 前年件数の半減を目標とし加害事故の根絶に取り組む。 作業計画に基いた直営清掃車両の搬入回数 計画数内の搬入を目標に、効率的な運行を目指す。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	加害件数 年間延直営清掃車両搬入回数						
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	安全運転走行への意識の向上のため、事故件数の減と、連続無事故日数の更新を目標とする。 各種の講習会を実施し、安全運転技術のスキルアップを図る。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明								
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	件	5	0	2	0	2	0	0.0	
	活動指標(2)	2	台	11,510	11,892	10,324	10,986	10,318	11,196	93.9	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	28,286	38,556	33,456	44,858	34,352	37,578	平成26年度 予算執行率(%) 76.6	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 自動車用燃料費用が 計画より減った等の理 由により執行残となり ました。	
	(内)委託費	7	千円	128	217	85	219	97	137		
	職員数	常勤職員数	8	人	30.20	28.00	30.23	27.00	29.16		27.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	262,740	241,640	260,885	237,870	256,900		237,870
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	291,026	280,196	294,341	282,728	291,252	275,448		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	58,205,200	0	147,170,500	0	145,626,000	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	2,812	1,222	12	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,812	1,222	12	0	0	0		
差引:一般財源 (14-20)		21	千円	288,214	278,974	294,329	282,728	291,252	275,448		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	472	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		自動車用燃料		50	台	13,768
		車両点検整備		50	台	17,723
		維持管理経費（車両消耗品、保険料・公課費等）		50	台	2,809
		整備架装研修		2	人	52
	その他（ ）					
(2) 事業実績	車両点検整備を次のとおり実施しました。 3ヶ月点検34台 6ヶ月点検48台 12ヶ月点検34台 架装点検123台 車検 事前点検28台 各種研修・講習会を次のとおり実施しました。 交通安全講習会(6回) 安全運転特別講習会(2回) 運転実技指導(6回) 車庫地下ド ッキング作業安全点検(3回) 整備架装研修					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	これまで各種研修や講習会を実施し安全運転技術及び安全運転に対する意識の向上に努めているところですが、引き続き交通事故の根絶に向けた取組強化が課題となっています。 杉並清掃工場建替えに伴い、可燃ごみは、東京二十三区清掃一部事務組合から指定された他区の清掃工場へ搬入しています。 清掃車両の保有台数については、清掃車両のコストを考慮し、年々減少しているごみ量に応じた減車を図り、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00454）

事務事業名称		杉並清掃事務所の維持管理			款	06	項	01	目	04	事業	002	整理番号	473		
現担当課名		杉並清掃事務所			係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	454			
上位施策No・施策名										10 ごみの減量と資源化の推進		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成12年度														
	平成26年度担当課名	杉並清掃事務所			事業評価区分	施設維持管理										
	対象	12,615.34㎡（本所 - 784.70㎡、下井草分室 - 602.96㎡、旧杉並中継所 - 6890.31㎡、方南支所1875.64㎡、高円寺車庫2461.73㎡）			根拠法令等	(1)		杉並区公有財産管理規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。			活動指標	指標名(1)		電気使用量								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。			指標説明	指標名(2)										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	kwh	892,524	850,000	921,739	1,100,000	902,767	884,712	82.1						
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	95,857	113,760	104,784	129,666	121,609	117,179	平成26年度予算執行率(%)	93.8					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	40,304	43,228	41,551	49,549	47,564	47,276	高円寺車庫脱臭塔活性炭交換、酸素クラスター脱臭装置生成管交換等を実施したことにより、前年度事業費から増となりました。						
	職員数	常勤職員数	8	人	5.97	5.60	5.91	5.65	5.84	5.75	受益者負担の内容は「清掃事務所使用料」「敷地使用料」「光熱水費使用者負担金」「あすなる作業所保守委託負担金」です。					
		再任用職員数	9	人	1.00	0.50	0.67	0.70	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.01	1.20	1.17	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	51,939	48,328	51,003	49,777	51,450	50,658						
		再任用職員分	12	千円	3,930	1,930	2,586	2,835	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	2,778	3,336	3,253	2,830	2,830	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	154,504	167,354	161,626	185,108	175,889	170,667						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	173	197	175	168	195	193						
	財源	受益者負担分	16	千円	8,968	10,800	10,015	11,225	8,963	11,326						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	8,968	10,800	10,015	11,225	8,963	11,326							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	145,536	156,554	151,611	173,883	166,926	159,341							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	5.8	6.5	6.2	6.1	5.1	6.6								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	473
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		保守管理委託	5	所	44,663
		光熱水費	5	所	51,988
		維持管理経費	5	所	8,804
		施設等整備費	5	所	16,154
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	老朽化が進んでいる各清掃施設について、各種保守委託や計画的、緊急的な修繕・工事をを行い、最小限の執務環境の維持に努めてまいりました。 大規模施設整備としての高円寺車庫の脱臭塔活性炭の交換（3年毎）を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	各清掃施設の老朽化に伴い、機器設備の不具合や緊急的な修繕など顕著になっています。また、杉並清掃事務所の耐震診断では、安全なIS値を満たしておらず、大規模な震災が発生した場合に損壊する恐れがあります。 平成26年3月「区立施設再編整備計画」では、杉並清掃事務所の改築に向け、(1) 改築期間中における機能分散、(2) 改築に合わせた方南支所及び下井草分室の移転集約、及び(3) 改築における施設の複合化・高度利用など、敷地の有効活用と他用途活用のあり方等について検討していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				